

令和4年度 第3回地域授業改善協議会<竹田教育事務所管内>

令和4年11月24日(木) 豊後大野市朝地公民館

各学校の教務主任・研究主任の先生方を対象に「ICTを効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について研修を行いました。

<研修内容>

講義・演習:「ICTを効果的に活用した学びの推進に向けて」
<講師> 大分県教育庁教育デジタル改革室
西元 陽佑 指導主事

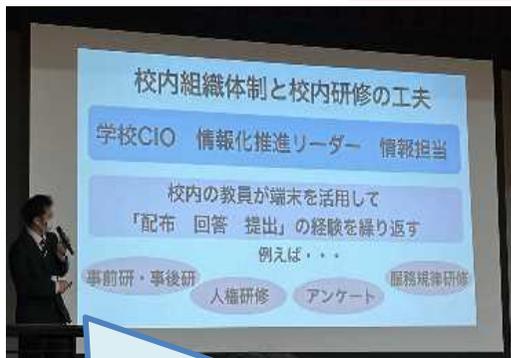
講義①

ICT活用の現状&課題、ICTの効果的な活用について



本日のキーワード

ICTの効果的な活用
ICT活用指導力の向上
デジタルシティズンシップ教育



ICTを活用する場面は多く存在します。担当の先生方を中心に繰り返し使っているうちに、自然と使い方に慣れ、効果的な活用が見えてきます。

自分の気持ちを表現するために、このようなアプリの使用は効果的です。



演習 (ICT実践事例の共有)



実際にタブレットを見せながらの説明もありました。



それぞれの学校で、タブレットは提示・検索・共有・まとめ・発表等のツールとして活用されています。

講義②

「情報モラル教育」と「デジタルシティズンシップ教育」について

ICTのよき使い手を育てるために、ルールを「大人が決める」から「自分たちで決める」指導へ移行することが必要です。

「デジタルシティズンシップ」
デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のこと

「デジタルシティズンシップ教育」
優れたデジタル市民になるために必要な能力を身につけることを目的とした教育

「欧州評議会(2020)Digital Citizenship Education Trainers' Pack」での定義
2021年3月
©2021年11月 豊後大野市立ICT推進センター 豊後大野市立朝地公民館 豊後大野市立朝地公民館
豊後大野市立朝地公民館 豊後大野市立朝地公民館

GIGA



全ての子どもたちが 世界の人たちとかがわって
かつやくできるような未来になりますように

(参加者の感想)

- ICTの校内研修としてだけでなく、日頃の研修からさりげなくICTを活用し、全職員が気軽に使えるような職場にしていこうと思いました。そうすることにより、職員のICT活用指導力が向上し、それが子どもたちの情報活用能力の向上につながると感じました。これから研究主任として実践を取り入れていきたいです。
- 実践交流で他校のICTの効果的な活用について知ることができたので、校内研修の中でも共有していきたいです。ICTはあくまでも手段なので、これまで行ってきた実践とのベストミックスになる活用方法を模索していくことが大切だということを感じました。
- タブレットのルールを使いながら自分たちで考えさせていくなど、自分で自分を指導していく力が必要であると学びました。使うことで考える力を伸ばしていくという考え方をともに、子どもたちとICTを効果的に活用した実践に取り組んでいきたいです。